

アメリカ留学

長谷川遥

私は NUIS に入学した時からアメリカに留学することを決めていましたが、留学希望者の募集がかかったとき、ちゃんと授業についていけるのだろうか、友達はあるのだろうかと不安になりとても悩みました。ですがやはり、英語を話せるようになりたい、聞き取れるようになりたいという思いが強く、先生や両親、友達と相談し、今回の留学を決めました。パスポートやビザの取得は大変と聞いていましたが、全然苦ではありませんでした。

クラスには、韓国人が 1 人、中国人が 3 人いました。彼らはとてもフレンドリーで面白くて優しく、すぐに仲良くなるのが出来ました。授業ではほぼ毎日会っているにも関わらず、授業後にも Facebook や Line で連絡を取り合うくらいでした。また、先生方も優しく面白かったので、授業が楽しく、時間が過ぎるのがあっという間のように思えました。Mrs. K はとても明るく、授業前に急にダンスを始めたり、テスト前には私たちをリラックスさせるために音楽をかけてくれたり、授業中にもギャグを言って笑わせたりしてくれました。Mrs. Hardee はおっとりしていて、質問には解りやすく丁寧に答えてくれました。授業では、積極的な発言が求められます。最初は、間違っていたらどうしようなどと思い、自ら手を挙げて発言することが出来ませんでした。せっかく留学に来たのにもったいないと思い、積極的に発言するように心がけました。毎週火曜日にはピーチがありました。みんなの前で英語で発表、最初のうちはすごく緊張して、原稿を見ながら発表したにもかかわらず、なかなかうまく話せなかったのを覚えています。それがとても悔しく、2 回目からは原稿を見ないと決め、原稿を見ずに発表を行いました。最終的には、緊張もしなくなっていて、1 番を買って出るくらいになっていました。宿題や本を読んで内容をまとめるというブックレポートは大変で、友達と夜中までやっているときもありました。そのときはつらく、サボってもう寝てしまいたいと思うことが多々ありましたが、頑張っただけで済ませました。Field Trip では動物園、美術館、農場、ショッピングモールに行き、そこでは楽しみながらアメリカの文化を学ぶことが出来ました。

週に 2 回、1 時間ずつ現地の学生と会話をする Conversation Partner があり、私のパートナーは Georgina という女性でした。最初の方は全く聞き取れませんでした。聞き直すことで私が理解できるように分かりやすく説明してくれました。話の内容はファッション、家族、新潟のことなど軽い話題から同性愛、クローン化、法律などといった難しい話題まで様々で、なかなか自分の考えをうまく伝えられない事もありましたが、彼女は理解しようとしてくれました。また、近くの湖やメキシコ料理のレストランにも連れて行って、私が何か頼みごとをしたときは快く受け入れてくれました。私は明るくて優しい Georgina

が大好きで、パートナーが彼女で本当によかったと思います。



食事はいつもユニオンの1階にある **Commons** というところでとっていました。口に合わない、ということはありませんでしたが、あまりメニューが変わらないので飽きてしまい、食べたいものがないと思うことがありました。そんな時は、日本から送ってもらった日本食やウォルマートで買って来たものを食べていました。ウォルマートというのは大型のスーパーで食品はもちろん、服や雑貨、CDなども売っています。ウォルマートまでは学校からシャトルバスが出ているので、それを利用して行くことができます。時間通りに来ないことがよくありましたが、それもまたアメリカらしいなと思いました。寮は **Franken Hall** でした。**Franken Hall** の人たちはみんな優しくフレンドリーで、私が何か頼みごとをしたときにはベストを尽くしてくれたり、温かい人たちばかりでした。特に、ネパールの人たちと仲良くなることが出来ました。彼らは明るく陽気で、会うたびに声をかけてくれました。また、時には課題を手伝ってくれたり、一緒にイベントに参加したり、散歩に誘ってくれたり、お互いに母国語や母国のことを教え合ったりし、気が付けば毎日一緒にいるのではないかといいくらい仲良くなっていました。こんなにもいい人たちに出会えて、友達になれて幸せだなと思いました。フランケンの一階にはロビーがあり、そこではテレビを見ることが出来ます。料理を作ったり、卓球やビリヤードが出来るスペースもあります。やることなく暇なときはほとんどテレビを見て過ごしました。テレビを見ながら課題をやったこともありました。地下にはランドリーがあり、そこで洗濯をすることが出来

るのですが、曜日や時間帯によっては洗濯機も乾燥機もなかなかあかないことがあり、大変でした。私が驚いたのは、イベントの多さです。ビンゴ大会、映画鑑賞、レーザーバトルゲーム、マジックショー、ライブ、サーカスなどのイベントがあり、毎日楽しく過ごすことが出来ました。また、イベントに参加することで、新しい出会いもあるので、積極的にイベントに参加することをお勧めします。

夏は暑く、冬はとても寒いです。現地の学生は、夏は半袖、ショーパンにサンダル、少し寒くなったらそれにパーカーを羽織っている感じでした。冬はパンツにトレーナーやニット、その上にコートを羽織る感じでとてもカジュアルでした。ですが、冬でも半袖や薄着でいる人がいたり、雨でも傘をささない人が多く、驚きました。

ハロウィンの前には、イベントコーディネーターの Belinda と NUIS の学生でパンプキンパッチへ行ってきました。そこには、子どもが楽しめるような遊具がいくつかあり、それがとても楽しくて足に大痣を作ってしまうくらい大はしゃぎしました。大きなコーンメイズもあり、出てくるのにどれくらい時間がかかるのだろう、と思いながら挑戦しましたが、一緒に入った友達が地図を見ながらどんどん進んでいき、案外あっさりとゴールできたのもいい思い出です。ハロウィンには、衣装した子供たちを見に、ダウンタウンまで出かけました。可愛いものから面白いものまで、いろいろな衣装があり、たくさん写真をとりました。寮に戻ってからは、部屋を訪ねてきた子供たちにお菓子を配るなど、本場のハロウィンを楽しむことが出来ました。



Thanksgiving holiday には、FIS ファミリーの Mr.&Mrs. Horner にお世話になりました。いろいろとあり、前日に彼らのお宅に滞在することが決まったのですが、快く受け入れてくれました。Mrs. Horner は料理が得意で、作ってくれたご飯やお菓子すべてが美味しかったです。Thanksgiving day 当日のご飯は、Turkey や Pumpkin pie などの伝統料理でした。私も前日にパイ作りを手伝ったり、Mr. Horner とジャム作りをしたりして、準備から楽しむことが出来ました。アメリカの伝統料理が食べられるというだけでわくわくだったのに、カナダ、中国、南アフリカ、インド出身の人たちも集まり、インターナショナルですごく楽しかったです。また、いろんな教会に連れて行ってもらい、教会の様様替えを手伝うなど、貴重な体験をすることが出来ました。教会にはオルガンがあり、Mr. Horner が弾きながらオルガンについて説明してくれました。彼らの家にはいろんな国の物やスパイスがあり、地下もあったので地下を見せてもらったりと、勉強になることも多かったです。たくさんの異文化に触れることが出来、最高の Thanksgiving holiday でした。



アメリカに留学していた4か月間、本当にあつという間でした。なので、初めの方に緊張してなかなか自らコミュニケーションを取りにいけなかったのが悔しいです。恐がらずにもっと自分から声をかけていれば、もっと1日1日を大切に過ごしていれば、と思います。ですが、本当に楽しくて充実した最高の4か月間だったのも確かです。留学中に体験したことや出会った人たちは私にとって一生の宝物になると思います。こんなにいい経験が出来て、たくさんの素敵な人たちに出会えて、アメリカに留学に行けて本当によかったです。